

SDGsに関する参考指標の公表について

国連サミットにおいて、“誰一人取り残さない—No one will be left behind”を理念として採択された持続可能な開発目標であるSDGsの目標を達成するには、国、企業の取組のみならず、地方自治体による取組が必要不可欠とされています。

区では、基本構想に基づき、全ての区民の皆様に幸福を実感いただける地域社会の実現に向け、目標とする将来像として「6つの都市像」を掲げ、様々な施策を実施してきました。

こうした区取組は、SDGsが目指すべき方向性と重なる面があることを踏まえ、6つの都市像ごとに、関連が深いと考えられるSDGsのゴールと関連付けを行い、主な政策・施策の成果指標を参考指標としてお示しします。



I 生涯健康都市

01 生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現

II 子育て教育都市

03 子育てしやすいまちの形成

III 産業革新都市

05 活力ある地域経済づくり

02 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成

04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成

06 人が集う魅力あるまちの形成



IV 環境先進都市

07 地球環境を守るまちの実現

V 文化創造都市

09 伝統文化の継承と都市間交流の推進

VI 安全安心都市

11 防災・防犯のまちづくり

08 良好で快適な生活環境の形成

10 活気ある地域コミュニティの形成

12 利便性の高い都市基盤の整備

I 生涯健康都市



3 すべての人々に健康と福祉を

<区が目指している方向性>

○区民一人一人が生涯にわたって、心身ともに健康で生き生きと生活できるような環境を整備していきます。【政策 01】

○高齢者の積極的な社会参加と活力に満ちた高齢期の生活づくりを積極的に支援し、健康で安心して暮らせる社会を目指し、地域包括ケアシステムを推進し、介護予防の取組や在宅・施設におけるサービスを充実していきます。また、障がい者が地域社会で自立した生活を営めるよう、就学や就労、社会参加の機会等の確保に努めていきます。【政策 02】

<参考指標>

【※政策・施策分析シート等の「指標」欄から転載】

幸福実感指標名	3 年度	4 年度	5 年度
健康実感度	3.42	3.36	3.39
医療の充実度	3.47	3.44	3.50
福祉の充実度	3.16	3.13	3.14

指標名	3 年度	4 年度	5 年度	目標値	備考
健康寿命（男性）（歳）	80.6	80.7	80.7	82.2	65 歳健康寿命（65 歳の平均自立期間に 65 を加算した数値）
健康寿命（女性）（歳）	83.1	83.0	83.1	83.5	65 歳健康寿命（65 歳の平均自立期間に 65 を加算した数値）
健康状態がよいと感じる人の割合（％）	46.0	42.7	44.2	51.9	荒川区民総幸福度（GAH）調査結果
要介護認定者の出現率（％）	18.8	19.0	19.4	20.0	第 1 号認定者数/第 1 号被保険者数
認知症サポーター養成者数（累計）（人）	15,794	16,790	17,587	18,527	
じよぶ・あらかわを通じた障がい者の一般就労者数（人）	353	380	394	489	

Ⅱ子育て教育都市



3 すべての人々に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

<区が目指している方向性>

○全ての区民が安心して子育てができ、子育てに喜びと満足感が得られるような環境を整備していきます。【政策 03】

○未来を拓き、たくましく生きる子どもを育成するために、学校教育の充実を図るとともに、区民が生涯にわたり自分らしく活躍できるよう、生きがいや自己実現、人生の豊かさ等の源となる生涯学習等を促進していきます。【政策 04】

<参考指標>

【※政策・施策分析シート等の「指標」欄から転載】

幸福実感指標名	3 年度	4 年度	5 年度
子どもの成長の実感度	4. 29	4. 25	4. 30
望む子育てができている実感度	3. 41	3. 29	3. 41
子育て・教育環境の満足度	3. 57	3. 54	3. 55
生涯学習環境の充実	3. 06	3. 06	3. 10

指標名	3 年度	4 年度	5 年度	目標値	備考
子どもの居場所づくりの満足度（％）	—	—	70	80	令和 5 年度からアンケート調査開始
子育てアプリ登録者数（人）	4, 815	6, 433	7, 591	9, 000	
授業でタブレット PC を効果的に活用している教員の割合（％）	83. 4	85. 7	86. 0	90. 00	教育の情報化調査結果
先生や友達と楽しく過ごしている児童生徒の割合（％）	92. 8	93. 0	93. 1	95. 00	学校関係者評価結果

Ⅲ産業革新都市



8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

<区が目指している方向性>

○地域経済が区民生活の礎であることを踏まえ、区内産業の発展、地域経済の活性化及び雇用の創出を促進し、区民生活の向上と活力ある地域社会の実現を図ります。【政策 05】

○観光振興を積極的に推進することで、地域経済・産業の活性化、区民の地域に対する誇りの高揚、来訪者との交流による地域の活性化等を図ります。【政策 06】

<参考指標>

【※政策・施策分析シート等の「指標」欄から転載】

幸福実感指標名	3 年度	4 年度	5 年度
まちの産業	2. 64	2. 57	2. 60
まちの魅力	2. 64	2. 65	2. 61

指標名	3 年度	4 年度	5 年度	目標値	備考
創業支援融資実行件数（件）	34	31	33	55	
新製品・新技術開発件数（MACC プロジェクト）（件）	1	0	4	4	MACC プロジェクト参加企業の開発等件数
魅力あふれる個店づくり事業 メールマガジン登録数（件）	70	74	86	500	魅力あふれる個店づくり事業の会員及び メールマガ会員の合計数
まちあるきマップ発行部数累計（千部）	2, 150	2, 193	2, 221	2, 413	

IV環境先進都市



- 1 1 住み続けられるまちづくりを
- 1 2 つくる責任・つかう責任
- 1 3 気候変動に具体的な対策を

<区が目指している方向性>

○環境への負荷が少ない省エネルギー・省資源型のライフスタイルへの変換を促進し、脱炭素社会及び循環型社会の実現を目指していきます。【政策 07】

○住みたい、いつまでも住み続けたい街の実現を目指して、花と緑あふれ、うるおいと安らぎの場を区民に提供し、安全で快適な生活環境の充実に取り組むとともに、細街路の拡幅や道路の適正な維持管理、まちの環境美化等を進め、良好な住環境の維持・向上を図ります。【政策 08】

<参考指標>

【※政策・施策分析シート等の「指標」欄から転載】

幸福実感指標名	3 年度	4 年度	5 年度
まちなみの良さ	3. 02	3. 03	3. 04
周辺環境の快適さ	3. 10	3. 13	3. 08

指標名	3 年度	4 年度	5 年度	目標値	備考
区全体の温室効果ガス排出量 (単位：千 t-CO2eq)	669	—	—	498	令和 4・5 年度は集計中
エコ助成利用件数 (ZEH 助成を含む)	121	306	449	500	「荒川区役所エコアクティブプラン」に基づく
区民 1 人 1 日当たりの総排出量 (グラム)	783	765	741	739	総排出量＝総ごみ量+資源回収量
街なか花壇の数 (か所)	96	97	97	152	最終目標：全町会への設置
住みよいと感じる人の割合 (%)	92	92	92	92	区政世論調査結果
細街路後退用地整備率 (%)	47	48	49	52	整備延長／整備対象道路延長両側(自主整備含む)

V文化創造都市



4 質の高い教育をみんなに

<区が目指している方向性>

- 区民が主役の芸術文化の振興により区民の幸福実感を高め、区の魅力を内外に発信すること、区民・生活・地域が芸術文化でつながるまちを創ります。【政策 09】
- 有形・無形の文化財の保存や、郷土の歴史や地域について学ぶ機会の提供などにより、伝統文化の継承や新たな文化の創造に向かい、地域、区民と一体となって区の文化力を向上させます。【政策 09】
- 心豊かで活力に満ちた地域社会の形成を図るため、地域の活動拠点の整備を進めるとともに、地域コミュニティによる様々な活動を支援していきます。【政策 10】

<参考指標>

【※政策・施策分析シート等の「指標」欄から転載】

幸福実感指標名	3 年度	4 年度	5 年度
充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感	2.44	2.45	2.51
生涯学習環境の充実	3.06	3.06	3.10
文化的寛容性	2.66	2.66	2.68

指標名	3 年度	4 年度	5 年度	目標値	備考
俳句文化振興事業 投句事業への投句数 (人)	3,115	4,275	5,387	6,000	
ふるさと文化館利用者数 (人)	14,516	16,040	17,122	24,500	
各図書館の個人登録者数 (人)	84,714	88,823	97,888	130,000	ゆいの森あらかわ及び各図書館の個人登録者数の総計
区民一人当たりの総貸出点数 (点)	10.2	10.3	10.0	10.0	ゆいの森あらかわ及び各図書館の個人総 貸出点数÷住基人口

VI 安全安心都市



11 住み続けられるまちづくりを

<区が目指している方向性>

○大地震による火災や建物の倒壊を防ぐための様々な施策を実施するとともに、地域の防災活動拠点の整備、避難体制の確保、大規模水害時の避難体制の確立等の防災対策を充実することにより、災害に強い荒川区を作っていきます。また、誰もが安心して生活できるよう、区民や関係機関との連携のもと、犯罪の発生抑止や交通事故の減少について、総合的な対策を実施していきます。【政策 11】

○住みたい、住み続けたい街の実現を目指して、道路等の都市施設の整備、駅前再開発の推進、防災街づくりの推進、公共交通網の整備等を進め、防災性が高く、良好な住環境の市街地の形成に向けた取組を進めます。【政策 12】

<参考指標>

【※政策・施策分析シート等の「指標」欄から転載】

幸福実感指標名	3 年度	4 年度	5 年度
安全・安心実感度	2.76	2.74	2.75
災害時の絆・助け合い	2.50	2.50	2.48
防災性	2.32	2.29	2.35

指標名	3 年度	4 年度	5 年度	目標値	備考
犯罪認知件数	1,078	1,143	1,326	1,000	(1 月～12 月)
交通事故件数	292	323	352	345	(1 月～12 月)
住宅の耐震化率 (%)	87	87	88	95	耐震性のある住戸数/全体住戸数
不燃領域率(不燃化特区内全域) (%)	64.7	65.0	65.5	70 超	市街地の「燃えにくさ」を表す比率
市街地再開発事業の進捗率(全地区) (%)	82	83	83	92	各地区(日暮里、西日暮里、三河島、南千住、町屋)の平均